



第15号 2004.7.1 (年4回発行)
 発行所：神戸市サッカー協会
 〒651-0085 神戸市中央区八幡通2丁目1-10
 三木記念神戸市立スポーツ会館内
 TEL (078) 232-0753 FAX (078) 232-4647
 発行人：神戸市サッカー協会広報委員会
 発行責任者：榎原 徹夫 一部 100円



第46回 神戸市中学生サッカー 選手権大会

日時：4月17日～5月2日
 場所：ユニバー記念競技場
 サブグラウンド



東落合中学校
まめでとろ

神戸のサッカー

中学生(3種)

選手一覧表

PS	背番号	名前	学年
GK	1	田中 翔太	3
DF	6	荒井 淳平	3
DF	5	山下裕太郎	3
DF	3	石原 裕貴	3
MF	9	中川 大生	3
MF	16	的野 恭平	2
MF	8	岸本 篤	3
MF	7	後藤 希斗	3
MF	14	佐々木 耀	2
FW	20	吉田 翔太	3
FW	4	徳山 奨	3
Sub	2	藪 博昂	3
	10	秋川 夕介	3
	13	西田 和聡	3
	12	佐伯 明彦	2
	17	河村 翔太	2
	18	藤井 祐希	2
	19	田中 和貴	2
		政倉 圭佑	2
		島田 拓也	2
		仲田 有樹	2
		福田 浩志	2
		渡 雄貴	2
		大野 優	2
		岡部 真也	2
		松井 雄平	2
		宮崎 貴章	2
		妻鹿 泰宜	2
		堤下 一真	2
		高宮 美波	2

今思うこと

神戸市立 東落合中学校 監督 阪本 龍彦

東落合中学校に赴任して1ヶ月。こんな栄冠を手にするとは思っていませんでした。もちろん私の力で成しえたのではなく、今まで育ててくれた監督や、選手一人一人が頑張ったからです。サッカーのような集団スポーツは、一人の力だけで勝ち進んでいくとはできません。それぞれが役割を果たし、互いに連携し合い、どんな状況におかれても平常心で、絶対にあきらめない強い精神力が必要です。

赴任して初めての練習で子供たちにサッカーに対する思いを聞きました。全員が「サッカーが好き」で「高校に行っても続けたい」と答えました。そして私自身がサッカーをするときに持ち続けてきた思いを話しました。「技を磨け、仲間を支えろ。そして熱い心を持て。」

予選リーグ突破を第一目標に大会に臨みました。決勝トーナメントに進んでからは苦しい試合の連続でありましたが、体を張り、最後まであきらめずに戦い抜きました。いつしか選手とベンチ、そして応援席が一つになっていました。一戦一戦を終える毎に逞しくなっていく選手の姿に計り知れない可能性を感じることができました。

しかし、これからが本当の戦いです。謙虚な気持ちを忘れずに、常にチャレンジャー精神を持ち続け、いろいろな人に支えられていることに感謝して「熱い心」でまた次の目標に向けて頑張っていきたいと思います。目に見えない熱いエールを送ってくださった皆さん、本当にありがとうございました。





高校生(2種)



滝川第二高校				姫路市立琴丘高校			
選手名	背番号	位置	背番号	選手名	背番号	位置	選手名
清水 圭介	12	GK	GK	1	家本 大輔	0	0
小川 泰明	6	DF	DF	2	久保 裕司	1	1
嶋田 将利	5	DF	DF	3	太田 晃一	0	0
小石 真也	15	DF	DF	4	小西 雄也	0	0
小道 隆広	8	DF	DF	5	藤井 洋行	0	0
神戸 洋平	16	MF	MF	6	中井 謙二	0	0
村上 竜太	3	MF	MF	7	鈴木 優直	0	0
木島 悠	11	MF	MF	8	井澤 輝英	0	0
森本 良	7	MF	MF	9	伊藤 学	0	0
岡崎 慎司	9	FW	FW	10	山口 裕貴	0	0
稲垣 侑也	10	FW	FW	11	濱口 祐弥	0	0
吉岡 崇之	21	GK	GK	17	大西 智博	0	0
谷田 直丈	4	DF	DF	15	中谷 真也	0	0
櫻本 武士	17	DF	DF	19	中島 宏貴	0	0
内田 昂輔	24	MF	MF	13	佐伯 一廉	0	0
松本 純矢	19	MF	MF	14	阿南 孝則	0	0
柴垣 勇輝	22	MF	MF	16	八木 将	0	0
高松 大輔	14	MF	MF	18	永井 雅規	0	0
岡 良一	13	FW	FW	12	井上 正浩	0	0
森島 康仁	20	FW	FW	20	橋本 浩介	0	0

まめでとろ

平成16年度兵庫県高等学校体育大会サッカー競技 優勝! 滝川第二高校

6月6日(土)快晴のもと、平成16年度兵庫県高等学校体育大会サッカー競技決勝、滝川第二高校 対 姫路市立琴丘高校戦が、神戸ウイングスタジアムにて行われました。

滝川第二高校(以下滝二)は、4-3-3のシステムで、試合序盤から中盤でパスをつなぎ、前線のFW3人にボールを集め、主導権を握る。琴丘高校(以下琴丘)は4-4-2のシステムで滝二の猛攻を粘り強い守備でしのぎ、スピードあふれる前線にロングパスを通し、得点のチャンスをつかかう。試合が動いたのは前半22分、滝二が右サイドで得たスローインを⑥番小川泰明がゴール前にロングスローを入れ、キャプテン⑨番岡崎慎司がそれをヘディングシュートで得点し先制する。

後半に入っても滝二が試合を優位に進めるが、後半19分、琴丘が縦への突破から得たPKを決め同点となる。その後、滝二、琴丘の両者は追加点を奪うべく攻撃をしかけるが、そのまま試合は延長戦に入る。

延長でも滝二がパスを繋ぎ、試合の主導権を握る。そして、滝二が延長後半3分、GK⑫清水圭介からのパスを受けたキャプテン⑨番岡崎慎司が、そのままトリプルで琴丘DFの中央を突破、最後は冷静に相手GK・DFをかわし、左足で決勝点を奪い試合を決めた。

敗れたとはいえ、最後まであきらめずに戦った闘志あふれる琴丘と、パスによる多彩かつ積極的な攻撃で栄冠を手にした滝二の白熱した決勝戦となった。(永原佳洋)

女子

第9回全日本女子ユース(U-15)関西大会開催

第9回全日本女子ユース(U-15)関西大会が6/5(しあわせの村・啓明学院)6/12(鐘化学高砂)で行われた。

6/5の予選リーグにおいて、兵庫県女子選抜は京都府選抜と対戦し5対1で快勝し、大阪府選抜には0対1で惜敗し予選リーグを2位で通過し、6/12の決勝トーナメントに進出した。

準決勝では滋賀県選抜と対戦し、雨でコンディションの悪い中、先制されすぐに追いつくというシーソーゲームを、後半に一気に逆転し、5対2で勝利した。決勝戦では大阪府選抜と対戦し、予選リーグのリベンジに闘志を燃やし戦ったが、前半に遠くから素晴らしいシュートを決められたが、持ち前の粘りで反撃したが得点することができず、0対2で惜敗した。兵庫県女子選抜、大阪選抜は8/20から8/25(Jヴィレッジ)で行われる全国大会に出場する。兵庫県女子選抜は全国大会の決勝でこの関西大会の借りを返すため、残された時間を精一杯に努力していきたいと思っている。(兵庫県サッカー協会 女子委員会 U-15 担当 石井 清司)

第9回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会 関西予選大会

Aグループ(しあわせの村球技場)		勝ち	引分	負け	勝点	得点	失点	得失点	順位			
兵庫	京都	大阪	○5-1	●0-1	1	0	1	3	5	1	+4	2
京都	●1-5	●0-7	0	0	2	0	1	12	-11	3		
大阪	○1-0	○7-0	2	0	0	6	8	0	+8	1		

- 第1試合 ①10:00 京都 VS 大阪
- 第2試合 ②12:30 兵庫 VS 京都
- 第3試合 ③15:00 兵庫 VS 大阪

Bグループ(啓明学院)		勝ち	引分	負け	勝点	得点	失点	得失点	順位			
滋賀	和歌山	奈良	○7-0	○2-0	2	0	0	6	9	0	+9	1
和歌山	●0-7	●0-1	0	0	2	0	0	8	-8	3		
奈良	●0-2	○1-0	1	0	1	3	1	2	-1	2		

- 第1試合 ①10:00 和歌山 V 奈良
- 第2試合 ②12:30 滋賀 V 和歌山
- 第3試合 ③15:00 滋賀 V 奈良

〈決勝トーナメント(6/12)〉 鐘化学高砂グラウンド



ほいっする



審判・規律

審判委員会 小林茂幸

5月22日(土)の夕方、あすてっふKOBЕで2004年度3級審判昇級審査(筆記テスト)が実施されました。これは、毎年審判委員会で取り組んでいる事業のうちの一つで、書類審査をパスした方々が参加されました。昨年度までの〇×式から記述式に変更された問題は、試合中に審判としてどのように判定し、対応するのかを問う内容で皆さん懸命に問題に取り組まれました。また、29日(土)には、総合運動公園補助競技場で体力テストが行われ、12分間でどれだけの距離を走ることができるのかチェックを受けました。

本年度の希望者には、高校生2名のほか少年チーム、女子チームの指導者も含まれ、皆さん揃って昇級していただくことができれば、審判員の層も厚くなり、今後に大いに期待が持てます。

優秀なレフェリーはサッカーの競技レベルの向上に不可欠な存在と思います。そういった意味で神戸のサッカーの財産のひとつといえます。今後より多くの方がさらに上級を目指して挑戦して欲しいと願っています。



ぴっちさいど



社会人(1種)

平成16年度神戸市市民大会 パレス初優勝!



〈優勝 パレス〉

平成16年度神戸市市民大会、決勝・3位決定戦が5月29日にユニバー記念競技場で行われた。決勝に先立ち、まず3位決定戦が行われた。対戦カードはナシメントスvs FCエルフ。初顔合わせとなったこの対戦、前半立ち上がりから両チームとも中盤での激しいボールの奪い合いを見せる。ゲームも中盤に差し掛かった頃から、徐々にナシメントスに流れが傾き始める。そして前半25分、ナシメントスFW小和田が均衡を破るゴールを挙げる。エルフもその後は反撃に転じ、ナシメントスゴールを脅かす。前半終了間際にエルフが同点ゴールのチャンスを迎えるも、ナシメントスGK三ヶ本がファインセーブでゴールを死守。結局このチャンスをモノに出来なかったエルフには、この試合で流れが傾くことは無かった。後半に入ると一方的にナシメントスが攻め続け、次々と加点する。結局6-0でナシメントスが圧勝となった。

そして決勝戦。対戦カードはVIENTO vs パレス。VIENTOは4部リーグ所属ながらも安定した力を発揮。準決勝でナシメントスに辛勝ながらも決勝へ駒を進めた。一方のパレスは、1部リーグにおいても安定した力を発揮。今大会では接戦をモノにしながらも決勝の舞台にまで上がってきた。いざ試合が始まると一進一退の好ゲームが展開される。前半32分、VIENTO FW 山下のゴールで均衡が破れる。後半に入ると流れは一気にパレスへ傾く。後半開始5分で同点に追いつくと、その4分後にも加点し逆転。このまま試合終了かと思われた後半33分、VIENTO 清瀬選手のゴールで同点に。結局フルタイムでは決着つかず延長戦へ。疲労きった両チームは、互いにカウンターへの報酬でゴールへ攻め込むものの決定打を欠く。そして勝負の行方はPK戦に委ねられた。PK戦もフタを開けてみれば、両チームとも疲労が激しいせいなのかシュートがなかなか枠を捉えられない。そんな中、両チームのGKがファインセーブを見せ、キッカーは6人目へ。結局サドンデスのPKを決めたパレスが市民大会初優勝を飾った。



〈準優勝 VIENTO〉



〈第3位 ナシメントス〉



神戸のサッカーを応援します

ケーニヒスクローネは「セントラル神戸」をサポートしています。

神戸のおしゃれな味
ケーニヒスクローネ
 TOKYO・KOBЕ





ほ〜ふたいむ



技術委員会



神戸市サッカー協会指導者講習会が3月21日クーバー・フットボールパーク神戸で行われ138名が参加。講師にクーバー・コーチングインターナショナルディレクターのアルフレッド・ガルスティアン氏を迎え「クーバー・コーチング・メソッドの紹介」「練習メニューのプランとその実践」について講義と実践を行った。アルフレッド氏はまず6-12歳年代の練習を考える上で技術や体力のレベル差によりコーチがどのような練習を行うかを定めることが難しいことを指摘、その中でも「プレイヤーの技術レベルの向上」と「楽しみを持ってプレーする」ことを目的としてトレーニングを行わなければならないと説明した。さらにこの年代にはあまり多くの説明を行うのではなく、「シンプル(簡単)」「ショット(短く)」「クリア(明確)」をキーワードに伝えることが大切だと話した。

実践では参加者がいくつかのグループに分かれ、練習のモデルセッションをトピックごとに体験しながらトレーニングを行った。今回はクーバー・コーチングのカリキュラム「プレイヤー育成ピラミッド」の中から、「ボールマスター」(ボールコントロール、コーディネーション、柔軟性を向上させるための反復トレーニング)、「スピード」(フィジカル面とメンタル面)、「1対1の攻撃」、「レシーブとパス」、「グループプレイ」を用い、練習の一連の流れを紹介して頂いた。参加者は練習目的にあったオーガナイズをレベルに応じて変化させていくアルフレッドの指導実践を見て多くのことを学んだ。アルフレッド氏は予定時間を大幅に延長して熱く講習を行ってくれた。彼のその熟意はきっと参加者に伝わったことであろう。

アルフレッド氏はコーチの資質として「コーチは多くの練習メニューを持っているだけでは不十分であり、また子供たちの問題を発見するだけでも不十分である。コーチはその問題点を見つけそれを解決することこそが大切な仕事であり、このためにコミュニケーション能力を高めることが必要である」と語った。(技術委員会指導者養成部長 天野泰男)



アルフレッド・ガルスティアン氏

クーバー・コーチング・インターナショナルディレクター。
世界的に活動しているクーバー・コーチングのトップコーチ。
フランスをはじめ各国サッカー協会テクニカルコーチとして活躍。
レアル・マドリード、バイエルン・ミュンヘン、ACミラン、アーセナル、リバプール等、
世界の有名クラブのユース育成インストラクターとして活動。
世界中の活動が認められ、F.I.F.Aより推薦状を受け取っている。



医 事

〈レジスタンストレーニングの種類〉

【筋力強化のためのトレーニング法】

筋肉に非常に強い抵抗を加えて、最大に近い筋収縮を行わなければならない。従って、少ない反復回数(6回以下)で限界に達するように負荷を与える。ただし、セット間の休息時間は十分にとる必要がある。

(例) 負荷は最大重量の85%以上(≧85%1RM)で、反復回数は6回以下で疲労困憊とする。セット間の休息は2~5分間として2~6セット行う。

【筋肥大のためのトレーニング法】

(サッカー選手にはあまり関係ないが)、ボディビルディングなど筋肥大のためには、筋力強化トレーニングに比べて反復回数が多く6~12回の反復で筋収縮活動の限界に達する程度の負荷を用いる。休息時間は比較的短く、筋肉が十分に回復する前に次のセットを開始する。

(例) 負荷は67~85%1RMで反復回数は6~12回を目標、休息時間は30秒~90秒で3~6セット以上行う。

【筋持久力のためのトレーニング法】

短い休息時間で比較的弱い筋力で高回数繰り返すトレーニングである。

(例) 負荷は67%1RM以下で反復回数は12回以上でセット数は2~3回で休息時間は30秒以内である。

1RM: 1回だけ挙上できる最大重量
%1RM: 1回だけ挙上できる最大重量の割合(例)
1回だけ挙上できる最大重量が100kgとすると75%1RMは75kgである。
別の表現として10RMとは10回反復挙上できる最大重量をいう。下の表から75%1RMで例の場合75kgである。

%1RMと反復できる回数との関係

100%1RM=1回
95%1RM=2回
90%1RM=4回
85%1RM=6回
80%1RM=8回
75%1RM=10回
65%1RM=15回

神戸のサッカーと健康をアシストします。

須磨区医師会
サッカークラブ有志

名 谷

ていり小児科
(小児科・内科・アレルギー科)
☎078-792-5701
須磨区北落合3丁目28-3

益子整形外科
(整形外科)
☎078-797-3131
須磨区白川台6丁目23-2

妙法寺

高石内科クリニック
(内科・小児科・循環器科・
消化器科・呼吸器科・放射線科)
☎078-741-2052
須磨区妙法寺字寺界地92-11

原医院
(内科・小児科・循環器科)
☎078-743-7300
須磨区横尾1丁目9-1

月見山・須磨寺

清本整形外科クリニック
(整形外科・リハビリ科・外科)
☎078-732-1213
須磨区天神町4丁目4-35

林産婦人科診療所
(産婦人科)
☎078-731-0730
須磨区行幸町4丁目2-7

村上眼科医院
(眼科)
☎078-731-0056
須磨区月見山本町1丁目5-26

新須磨病院
(各科・スポーツ外来)
☎078-735-0001
須磨区磯馴町4丁目1-6

板 宿

梶川眼科医院
(眼科)
☎078-732-0091
須磨区前池町3丁目4-1

益子産婦人科医院
(産婦人科)
☎078-732-4103
須磨区戎町3丁目5-15

〈モットー〉

患者さんに優しく易しい病院

国家公務員共済組合連合会

六甲病院

〒657-0022 神戸市灘区土山町5番1号
TEL 078-851-8558 FAX 078-851-3906
http://kkrorjp/rokkou

〈診療科〉

内科・循環器科・呼吸器科・消化器科・
外科・整形外科・リハビリテーション科・
緩和ケア(ホスピス)科・眼科・皮膚科・
泌尿器科・耳鼻咽喉科・放射線科・
東洋医学科・
健康管理センター(人間ドック)
スポーツ外来

〈六甲病院への交通〉

阪神御影・JR六甲道・阪急六甲から
神戸市営バス⑩六甲ケーブル下行き。
高羽町下車。陸橋渡る。徒歩5分





する~ぼす

中学生(3種)



(北神戸中学校顧問 岡本 牧人)

地域の願いだった北神戸中学校サッカー部(FFC-SONHO)の誕生です。FFC-SONHOの意味を知りたい方、試合をして下さったら教えます。サッカー大好きな我が街「鹿の子台FC」の皆さんがありがたけの熱情を注いで育てた大切な少年たちを「我がまっトリプル軍団」に育成中。将来的に地域総合型クラブへの発展を夢見ながら活動する毎日です。全くの未熟者チームですが、神戸の仲間としてこれから末長いお付き合いの程よろしくお願いたします。



ひっさいと

小学生(4種)



〈優勝 FCライオス〉



〈準優勝 神戸FC〉

全日本少年サッカー大会兵庫県兼神戸市大会、栄冠はFCライオス

4月18日から始まった全日本少年サッカー大会兵庫県兼神戸市大会は、50チームが参加した。天候不順の中、FCライオスが安定した戦いを見せ、栄冠を勝ち取った。準優勝は、神戸FCだった。FCライオスは、神戸市を代表して兵庫県大会に出場する。

(FCライオス 大木宏之監督談)

「新人戦で敗退し、この大会をも目標にスタッフ、選手、保護者が志を一つにして取り組んできました。どの試合も気の抜けない試合でしたが選手達は、『夢へのチャレンジ』を合言葉に挑戦者であることを忘れず最後までやることができました。

応援していただいた人達への感謝の気持ちを持って、見ている人達の心が動くような熱い試合が県大会で出来ればと考えています。」

(FCライオス 水黒知也キャプテン談)

「優勝出来てとてもうれしかったです。勝って笛が鳴った時「次は県大会だ」と言う気持ちがありました。決勝戦は雨の中、みんなが声を出し、最後まで集中し自分達を信じて来たから勝てたと思います。ここでホッとしないで県大会では神戸市の代表として他のチームの分まで頑張ります。」

神戸市少年サッカーリーグ戦開幕

神戸市少年サッカーリーグ戦の開会式が神戸ウイングスタジアムで開かれた。神戸市内の64のクラブチーム、3,200人が参加した。参加チーム数は、各クラブが複数のチーム編成のため270チーム。大会は1・2・3部男子、4・5部女子に分かれ熱戦が繰り広げられる。開会式後、バックスタンドでは白と黒のボードを使って「2004 V KOBE」の白い文字を浮かべ、試合を盛り上げ楽しんでいた。



女子

TASAKIペルーレ少女サッカークリニック開催

春爛漫の3月13日、啓明女学院高校で念願だったTASAKIペルーレの中井監督以下選手17名(日本代表大谷選手ら5名除く)と市内8チーム、市外2チームから集まった120名が交流した。啓明女学院サッカー部員が、早朝よりリグランド作り等協力していただき、楽しい雰囲気の中行われた。8つの班に分かれ鬼ごっこ等遊びの要素を取り入れた練習やミニゲームを楽しんだ。最後はリーダー達の紅白戦を見学、選手一人ひとりの大きな声、積極的なプレーに歓声とともに感激していた。アトラクションでは、TASAKI選手と一人と全員がジャンケンをし、勝ち残った子供には、TASAKIのユニホーム等が賞品として渡され見学の保護者も感激。保護者からは「ヴィッセル神戸も良いけれど、女の子は、TASAKI。かっこいいし、身近に感じる。目標が出来る。」などは是非今後も続けてほしい。との声が多くあった。

また、参加した多井畑FCの仲東那奈さん(現FC・AGULAS)は、「夢は大きく持ちたい。頑張っペルーレに入り、オリンピックをめざしたい。」と眼を輝やかせていた。





べんちさいど

平成16年度県女子リーグ開幕!

4月18日(日)田崎真珠グラウンドにて県女子リーグの開会式と永年功労表彰式が行われました。

前年度優勝チームの神戸FCマミーズ 昌子直美主将の選手宣誓に始まった。永年表彰受賞者は「チームの皆さんのおかげでこの年齢まで続けてこられました!これからも頑張ります!」とハツラツとした笑顔を振りまいていました。今後ますます楽しみです。

☆表彰者は以下の通り

- 67歳表彰：花田一子(神陵台ポッカーズ)
- 60歳表彰：船津道子(神戸FCマミーズ)
- 山口昭子(神陵台ポッカーズ)
- 50歳表彰：木澤さつき(高砂FC'72レディース)
- 松本真澄(トパズ神戸)
- 山崎悦子(夢野ファイターズ)
- 川村昌美(多井畑キャロッツ)



いんた~せぶと

フットサル

フットサル兵庫県選抜選手募集中!

兵庫県フットサル連盟では、フットサルの普及・発展とレベルアップのため、選抜候補選手を募集しています。下記の条件に当てはまる方は一度応募いただき、練習会に参加して下さい。

1. 兵庫県フットサル連盟に加盟しているチームの方
2. フットサル個人登録を行っている方
3. スポーツ障害保険に加入してる方(練習中のケガは一切責任を持ちません)
4. サッカー中心ではなく、フットサル中心に活動できる方

※過去の選抜歴やサッカーでの実績は一切問いません。

上記に当てはまり、一度チャレンジしようと思う方は練習会に参加していただけます。日程などの案内はフットサル連盟のHPで紹介しています。

問合せ先・・・090-8983-5448(19時以降厳守! 担当:ユタニ)

神戸市サッカー協会 ホームページアドレス

<http://www.kobe-fa.gr.jp/>



ろっか~る~む

「神戸のサッカー」を応援して下さる方々募集! 広告募集中!(詳しくはホームページにて)

アテネオリンピック開催間近!

Jリーグ・LリーグだけでなくTV観戦盛りだくさんのサッカー

スタジアム観戦はもちろん力が入るが、子ども達の試合応援にはそれ以上の声援が盛り上がる。

表紙、東落合中学優勝に「中学3年目、悲願の優勝!なんといってもチームワーク抜群でした!」と保護者の皆さん感想に熱が入っていました。

少年リーグ開幕から夏休みには各団合宿や行事で益すます応援に盛り上がることでしょ。

広報「神戸のサッカー」は広報紙とホームページの併設で、「年齢性別を超えた人つながりによる神戸のサッカー普及と発展」を目標に登録選手はもちろん神戸のサッカーを愛する皆さん参加型の広報活動をしています。

神戸のサッカーファミリーとしてあたたかいご理解ご協力の声を互いにかけてあげ、よろしくお願いします。

ちびっこ達が、子ども達が夢追いかけてサッカーを楽しめるよう!

[by-S/F]